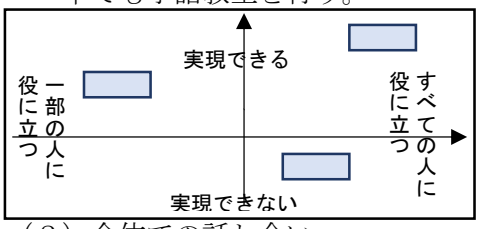
［別紙⑦］　　第５学年　総合的な学習の時間（人権）　学習指導略案

１　単　　元　　名　　みんなのあんしんプロジェクト
～誰もが安心して過ごせる学校やまちをつくろう～

２　単元の目標　・　身の回りの人権課題を見抜き、課題を解決する方法を考え、整理した情報を表現する力を身につけさせる。
・　障がいのある人や、性で悩んでいる人の思いについて学び、誰もが安心して過ごす人づくりや町づくりのためのアイデアを発信する活動を通して、必要な資質・能力を身につけさせる。

３　人権教育の内容　　差別と人権問題についての学習２－（２）－イ

４　展　　開

児童の活動	指導上の留意点・評価（※）	備考
１　前時をふり返り、本時の課題をつくる。	○　前時までに整理した、ＰＭＩシートなどの思考ツールを提示し、児童が考えた工夫は実現可能か問いかける。	（一斉） 前時までの思考ツール
工夫が実現できるかどうか、生活する人の立場で考え、理由をはっきりさせて話し合おう。		
２　話し合い、意見を整理する。 （１）グループでの話し合い ・　性に悩んでいる人も使えるよう、トイレの新しいマークを作る。 ・　視覚障がいがある人のために、点字ブロックや音声案内をつける。 ・　聴覚障がいがある人とコミュニケーションがとれるよう、どの学年でも手話教室を行う。  	○　価値づけるために適切な思考ツールを考えさせる。適切な意見が出なければ、座標軸シートが向いていることを伝える。 ○　まずは個人の意見をグループ内で整理させる。その際に、印象だけで決めるのではなく、暮らす人の立場に立っているか、なぜ実現できる（できない）と思うか、根拠や理由も述べるよう助言する。 ○　実現できないものは、どうすれば実現に近づくか、一部の人にしか役に立たないものは、必要かどうかも話し合わせる。 ○　市内や校内で実現可能か迷ったときは、ＧＴや校長に相談させる。 ○　早く意見が整理できた班から、発表準備をさせる。（根拠の整理と発表者の決定）	（グループ） ＰＭＩシート 付箋紙 座標軸シート ＧＴ
（２）全体での話し合い ・　手話教室を行うことは、実現できると思いました。ただ、聞こえにくい全ての人が手話を理解できるわけではないので、一部の人に役に立つ工夫だと考えています。	○　班ごとに順番に発表させる。各班の意見の羅列にならないように、他の班への意見や、自分の意見と比べて感じたことなども述べさせる。相手の立場で考えられている意見を称賛する。 ※根拠や理由を明確にして、自分の意見を述べることができる。【発言・記述】	（一斉） モニター
３　ゲストティーチャーの話を聞く。	○　ゲストティーチャーから、今日の授業の感想を話していただき、自分たちの活動の価値づけを行う。また、人権的な視点からの様々な市の取組を聞くことで、今後の意欲をもたせる。	（一斉） ＧＴ モニター
４　本時をふり返る。	○　本時の話し合いをめあてに即してふり返り、自分の達成度を確認させる。 ○　話し合いの内容について自分の考えを書かせ、次時のめあてにつなげる。	（個人） ワークシート